令和４年度
クリーニング師学科試験問題

指示があるまで開いてはいけません

試験時間６０分

受験番号		氏　名	

衛生法規に関する知識

問１　クリーニング業法第１条の条文について、（　）に入る語句を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

この法律は、（　ア　）に対して、（　イ　）等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその（　ウ　）を公共の福祉に適合させるとともに、（　エ　）の利益の擁護を図ることを目的とする。

１．クリーニング店	２．クリーニング業	３．クリーニング師
４．事業活動	５．衛生管理	６．公衆衛生
７．経営	８．営業	９．衛生状況
10．国民	11．利用者	12．消費者

問２　クリーニング業法第３条に規定する営業者の衛生措置等について述べたものですが、誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならないが、厚生労働大臣が特別に認める場合はこの限りではない。
２　営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び脱水機をそれぞれ少なくとも１台備えなければならない。ただし、脱水機の効用をも有する洗たく機を備える場合は、脱水機は、備えなくてもよい。
３　洗場については、床が不浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と排水溝が設けられていなければならない。

問３　クリーニング業法第４条に規定するクリーニング師の設置について述べたものですが、誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　洗たく物の処理を行うクリーニング所は、クリーニング所ごとに１名以上のクリーニング師を置かなければならない。
２　営業者がクリーニング師であって、自ら、主として一のクリーニング所においてその業務に従事するときは、当該クリーニング所は他のクリーニング師を置かなくてもよい。
３　洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所であっても、クリーニング師を置かなければならない。

問４　クリーニング業法第５条に規定する営業者の届出について、届出が必要なものには○を、届出が不要なものには×を解答欄に記入しなさい。

１　クリーニング所を開設しようとするとき
２　クリーニング師の氏名を変更した時
３　クリーニングの料金を変更した時

問５　クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習について述べたものですが、正しいものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後１年以内にクリーニング師の研修を受けた後は、５年を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
２　営業者は、そのクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、クリーニング師の研修を実施しなければならない。
３　営業者は、クリーニング所の開設の日又は無店舗取次店の営業開始の日から１年以内に、その従事者の中からその従事者の数に５分の１を乗じて得た数の者を選び、その者に業務従事者に対する講習を受けさせるものとする。
４　クリーニング師の研修及び業務従事者に対する講習は、都道府県知事が厚生労働大臣の定める基準に従って指定するものである。

問６　クリーニング業法における都道府県知事の権限として誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡の業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認められるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。
２　都道府県知事は、必要があると認められるときは、当該職員にクリーニング所又は業務用の車両に立ち入り、衛生措置等の実施状況を検査させることができ、これは犯罪捜査のためのものとしても認められている。
３　都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰金以上に刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

問７　標準営業約款制度（Ｓマーク制度）に関する記述について、（　）に入る語句を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

標準営業約款制度（Ｓマーク制度）は、生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律に基づいて、（　ア　）が厚生労働大臣の（　イ　）を受けて、現在、クリーニング業、理容業、美容業、一般飲食店営業、（　ウ　）の５業種について設定されている。

１．都道府県知事	２．各生活衛生同業組合	３．全国生活衛生営業指導センター
４．認可	５．認定	６．許可
７．旅館業	８．浴場業	９．めん類飲食店営業

問８　次のアからウまでの文は、クリーニング業と関わりのある環境保全等に関する法律について述べたものですが、それぞれの文に該当する法律名を語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア　この法律では、安全性の観点から、引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場については、住居系地域や商業系地域における立地を禁止している。

イ　この法律では、有害物質による地下水の汚染を未然に防止するため、有害物質を使用・貯蔵等する施設の設置者に対し、地下浸透防止のための構造、設備及び使用の方法に関する基準の遵守、定期点検などを義務付ける規定等が設けられている。

ウ　この法律では、揮発性有機化合物（ＶＯＣ）について、自主的取組による大気中への排出・飛散の削除努力が求められている。ドライクリーニングに使用する石油系溶剤やテトラクロロエチレンはこのＶＯＣに該当する。

１．下水道法	２．大気汚染防止法	３．土壌汚染対策法
４．建築基準法	５．水質汚濁防止法	
６．特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律		
７．建築物における衛生的環境の確保に関する法律		

公衆衛生に関する知識

問１　次の文章の（　　）にあてはまる語句を、下の枠内の語群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

Ａ　日本国憲法第２５条では、「すべて国民は、健康で（　ア　）な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、（　イ　）、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。

Ｂ　世界保健機関（ＷＨＯ）憲章では、「健康」を「肉体的、（　ウ　）及び社会的に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は（　エ　）でないということではない。」と定義している。

Ｃ　ウインスロー（C.E.A.Winslow）は、「公衆衛生」を「共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、（　オ　）を延長し、肉体的・（　ウ　）健康の能率の増進をはかる科学であり、（　カ　）である。」と定義している。

１．精神的	２．経済的	３．文化的	４．衛生的	５．安全
６．経済発展	７．社会福祉	８．安全保障	９．貧困	10．虚弱
11．重傷	12．技術	13．寿命	14．法律	15．財産

問２　次の記述は地域保健法で定められている保健所の業務に関する内容である。正しいものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　衛生上の試験及び検査に関する事項
２　医事及び薬事に関する事項
３　国民健康保険に関する事項
４　鳥インフルエンザに関する事項

問３　次の記述は健康増進法の受動喫煙防止に関するものである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　受動喫煙とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることをいう。
２　第一種施設には、多数の者が利用する国及び地方公共団体の行政機関の庁舎（行政機関がその事務を処理するために使用する施設に限る。）が含まれる。
３　喫煙とは、人が吸入するため、たばこを燃焼させ煙（蒸気を含む。以下同じ）を発生させることをいい、加熱により煙を発生させることは含めない。
４　２０２０年４月に施行された改正健康増進法では「望まない受動喫煙防止」という目的が新たに加わり、クリーニング所や事務所など２人以上の人が利用する施設は、原則屋内禁煙となった。

問４　次の記述は感染症対策に関する内容である。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　感染の成立は、「病原体（感染源）」「感染経路」「宿主」の３つの要因が揃うことである。
２　感染制御の原則は、病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」が基本である。
３　健康保菌者とは、病原菌に感染していても症状をあらわさず、保菌状態を示す者である。
４　病原体を物理的又は化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることを「滅菌」という。

問５　次の記述はノロウイルスによる感染症に関する内容である。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生するが、特に冬季に流行する。
２　次亜塩素酸ナトリウムは、ノロウイルスの消毒に有効である。
３　吐ぶつやふん便が布団などのリネン類に付着した場合は、まずは、８５℃・１分以上又は８０℃・１０分間以上の熱水洗濯を行う。
４　ノロウイルスは乾燥すると容易に空中を浮遊し、それが吸入されて感染性を示すことがあるので、吐ぶつ等が乾燥しないうちに速やかに処理し、その後、十分な換気を行うことが感染防止に重要である。

問６　次の記述はセレウス菌に関するものである。正しいものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　クリーニング業の施設が関わる感染症として、病院リネンを介したセレウス菌による集団感染があり、クリーニング業者においても細菌による汚染防止管理が重要となる。
２　土壌や水などの自然界に広く生息し、食中毒の原因になる場合がある。
３　セレウス菌が形成する芽胞は、熱には抵抗性を示すが、アルコールで死滅する。
４　一般的に毒性が強いため、徹底した除菌を行う必要がある。

問７　次の記述は労働安全衛生対策に関するものである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　常時５０人以上の労働者を使用する事業場においては、産業医を選定し、従業員の健康管理や作業の管理に関する事項等を行うこととなっている。
２　ドライクリーニングで使用される石油系溶剤は、有機溶剤中毒を防止するため、「有機溶剤中毒予防規則」により規制の対象となっている。
３　労働安全衛生法に基づく作業環境評価基準において、テトラクロロエチレンの管理濃度は２５ｐｐｍと規定されている。
４　テトラクロロエチレンを使用する事業者は、作業記録、作業環境の測定結果と評価結果の記録、特殊健康診断結果の記録を３年保存しなけれななならない。

問８　次の記述は環境保護やクリーニング業における取組に関するものである。誤っているものを１つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは 2015 年の国連サミットで採択された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。
２　SDGs には社会が抱えている様々な課題が網羅されており、持続可能な経営を行う戦略として活用できる。
３　プラスチックごみによる世界的な海洋汚染などの諸課題を背景に、国内の体制を強化していくため、令和４年４月に「プラスチック資源循環促進法」が施行された。
４　プラスチック有料化の対象となる「特定プラスチック使用製品」は１２製品あり、うち、クリーニング業における対象製品は「衣類用ハンガー」のみである。

洗濯物の処理に関する知識

問１　次の１から１０までの汚れの種類を、水溶性汚れならＡ、油性汚れならＢ、不溶性汚れならＣ、特殊汚れならＤをそれぞれ解答欄に記入しなさい。

１　セメント	６　サビ
２　タンパク質	７　化粧品
３　尿	８　ペンキ
４　果汁	９　泥
５　墨汁	10　塩

問２　次の文はドライクリーニング洗浄の説明であるが、誤っているものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　水洗いすると型崩れ、色落ち、縮みなどが起こる衣料品を水の代わりに有機溶剤を用いる洗浄方法である。

２　チャージシステムとはあらかじめドライ溶剤にドライソープを添加して洗う方法であり、通常ソープ濃度は５％～１０％を用いる。

３　ドライソープは静電気防止や風合いの向上、水を可溶化し水溶性汚れとシミ除去を促進させるなど添加は重要である。

４　日本では現在主に石油系溶剤とテトラクロロエチレンが溶剤として使用されているが、引火性のあるテトラクロロエチレンの取り扱いは特に注意が必要である。

５　石油系溶剤での化学やけど抑止のため、ポリウレタン製品の乾燥には十分時間をかけ、必要であればドライチェッカーで確認する。

問３　下記における表は、シミ抜き剤や洗剤などの家庭用品品質表示法の液性を表している。Ａ～Ｅに当てはまるものを下の１～５から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ｐＨ	液性
3.0 未満	A
3.0 以上　6.0 未満	B
6.0 以上　8.0 以下	C
8.0 を超えて 11.0 以下	D
11.0 を超えるもの	E

１中性　　２酸性　　３アルカリ性　　４弱アルカリ性　　５弱酸性

問４　次のアからコまでの文は、新 JIS L 0001 による繊維製品の取扱いに関する表示記号についての説明文である。説明文に合う記号を下の１から１８までの記号群から選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

ア　洗濯処理はできない。
イ　洗濯処理後のタンブル乾燥処理ができる。低温乾燥、排気温度上限は６０℃。
ウ　日陰でのぬれつり干し乾燥がよい。
エ　酸素系漂白剤による漂白処理ができるが､塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
オ　底面温度１１０℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
カ　ドライクリーニング処理はできない。
キ　石油系溶剤（蒸留温度１５０℃～２１０℃、引火点３８℃～）でのドライクリーニング処理ができる。弱い処理。
ク　液温は４０℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
ケ　アイロン仕上げ処理ができない。
コ　ウエットクリーニング処理ができる。非常に弱い処理。

1	2	3	4	5	6
					
7	8	9	10	11	12
					
13	14	15	16	17	18
					

問５　次の文は JIS L 0001 のウエットクリーニング記号表示の対象品となる製品の説明であるが、誤っているものを２つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　ドライクリーニング対象品であるが、油溶性汚れを除去する必要がある製品。
２　ポリ塩化ビニル製品や耐ドライクリー二ング性の低い樹脂を用いたプリント製品などドライクリーニングが不可能な製品。
３　壊れやすい装飾などが付属した機械力を抑える洗浄が必要な製品。
４　表示などで家庭洗濯や商業用水洗いが指示されており、他のクリーニング方法と比較してウエットクリーニングが望ましい状態にある製品。
５　漂白や強洗浄を必要とする汚れが付着し温度を上げて処理しなければならない製品。

問６　次の文は漂白剤と繊維の関係を説明したものである。誤っているもの１つを選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

１　ハイドロサルファイトはナイロン、毛、絹の漂白に用いることができる。
２　過酸化水素は毛や絹の漂白に用いることができる。
３　次亜塩素酸ナトリウムは低温で漂白効果があるが高温ではほとんど効果がない。
４　過炭酸ナトリウムは４０℃以上で効果を発揮する。緩やかに分解するので生地を傷めることが少ない。
５　次亜塩素酸ナトリウムは植物性繊維に漂白効果が大きい。

令和４年度クリーニング師試験問題解答

受験番号		氏名	

１．衛生法規に関する知識　（配点：１００点）

問　1			
ア	イ	ウ	エ
2	6	7	11

（５点×４問）

問　2
1

（１０点）

問　3
3

（５点）

問　4		
1	2	3
○	○	×

（５点×３問）

問　5	
3	4

（５点×２問）

問　6
2

（１０点）

問　7		
ア	イ	ウ
3	4	9

（５点×３問）

問　8		
ア	イ	ウ
4	5	2

（５点×３問）

得点	/ 100

２．公衆衛生に関する知識　（配点：１００点）

問　1					
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
3	7	1	10	13	12

（５点×６問）

問　2	
1	2

（５点×２問）

問　3
3

（１０点）

問　4
4

（１０点）

問　5
3

（１０点）

問　6	
1	2

（５点×２問）

問　7
4

（１０点）

問　8
4

（１０点）

得点	/ 100

３．洗たく物の処理に関する知識　（配点：１００点）

問　1									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
C	A	A	A	C	D	B	B	C	A

（３点×１０問）

問　2	
2	4

（５点×２問）

問　3				
A	B	C	D	E
2	5	1	4	3

（３点×５問）

問　4									
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
14	7	1	6	17	8	13	15	12	16

（３点×１０問）

問　5	
1	5

（５点×２問）

問　6
3

（５点）

得点	/ 100

総得点	/ 300